

# 多 度 津 町 経 済 動 向 調 査

## 《第1四半期(2022年7-9月) 調査結果》

1. 調査期間 令和4年9月1日～15日

2. 調査対象 会員36企業に調査票配布(回収企業26 回収率72.2%)

	製造	建設	卸・小売	サービス
調査対象	12	7	10	7
有効回答	10	4	7	5

3. 調査項目 今期(2022.7~9月)を基準に前年同期比、来期予測を今期比にて業況・売上高・採算・仕入単価・販売単価・従業員・資金繰りの項目について調査

※DI指数は、景況判断状況を表すもので増加・好転などの回答割合から減少、悪化などの回答割合を差し引きし、ゼロを基準としてプラス値で景気の上向き、マイナス値で景気の下向きを表す。

(仕入単価は下落-上昇、販売単価は上昇-下落、従業員は、不足-過剰の割合を差し引いて判断)

※調査項目の販売単価について2019年第1四半期調査より追加。

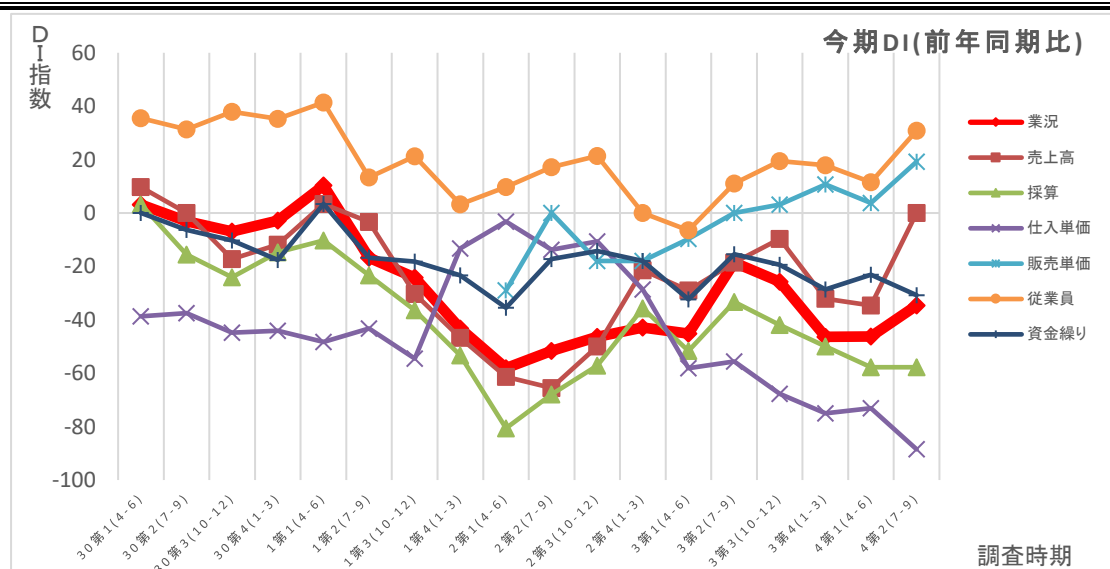
※業種分類を卸売、小売業を2020年第2四半期調査より統合。

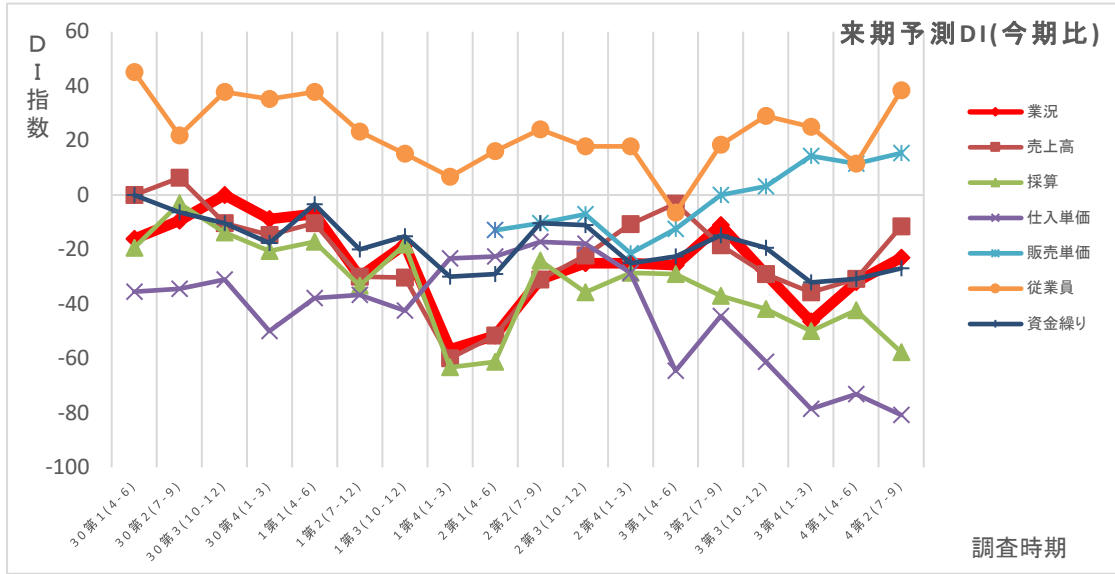
### 4. 全産業(DI指数分析)

**業況は原材料の上昇傾向は継続するも売上回復の後押しから4期ぶり改善。先行も不透明ながらコロナによる経済活動の制限もなく改善を見込む**

業況DI▲34.6(前期比+11.5<sup>ポ</sup> イト)、売上高DI0(前期比+34.6<sup>ポ</sup> イト)、採算DI▲57.7(前期比+0<sup>ポ</sup> イト)、仕入単価DI▲88.5(前期比-15.4<sup>ポ</sup> イト)、販売単価DI19.2(前期比+15.3<sup>ポ</sup> イト)、従業員DI30.8(前期比+19.2<sup>ポ</sup> イト)、資金繰りDI30.8(前期比-7.7<sup>ポ</sup> イト)。

先行きの見通し(来期予測)の業況DI▲23.1(今期比+11.5<sup>ポ</sup> イト)。売上高DI▲11.5(今期比-11.5<sup>ポ</sup> イト)、採算DI▲57.7(今期比+0<sup>ポ</sup> イト)、仕入単価DI▲80.8(今期比+7.7<sup>ポ</sup> イト)、販売単価DI15.4(今期比-3.8<sup>ポ</sup> イト)、従業員DI38.5(今期比+7.7<sup>ポ</sup> イト)、資金繰りDI▲26.9(今期比+3.8<sup>ポ</sup> イト)の結果となった。



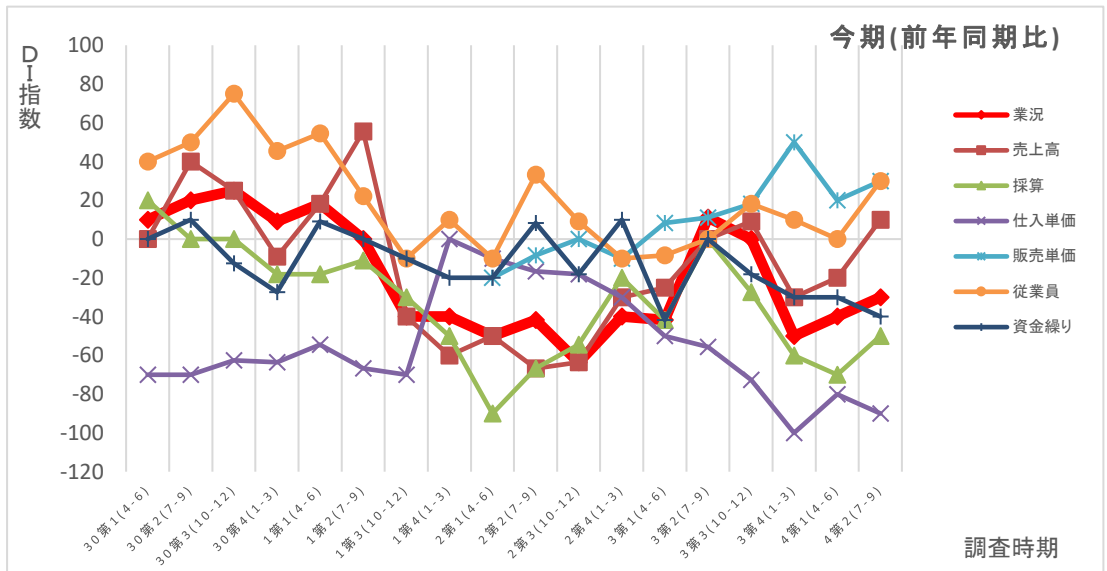


5. 業種別 (DI指数分析:前期比)

**製造業↑** 業況DI▲30.0(前期比+10.0ポイント)。

売上高DI10.0(前期比+30.0ポイント)、採算DI▲50.0(前期比+20.0ポイント)、仕入単価DI▲90.0(前期比-10.0ポイント)、販売単価DI30.0(前期比+10.0ポイント)、従業員DI30.0(前期比+30.0ポイント)、資金繰りDI▲40.0(前期比-10.0ポイント)。

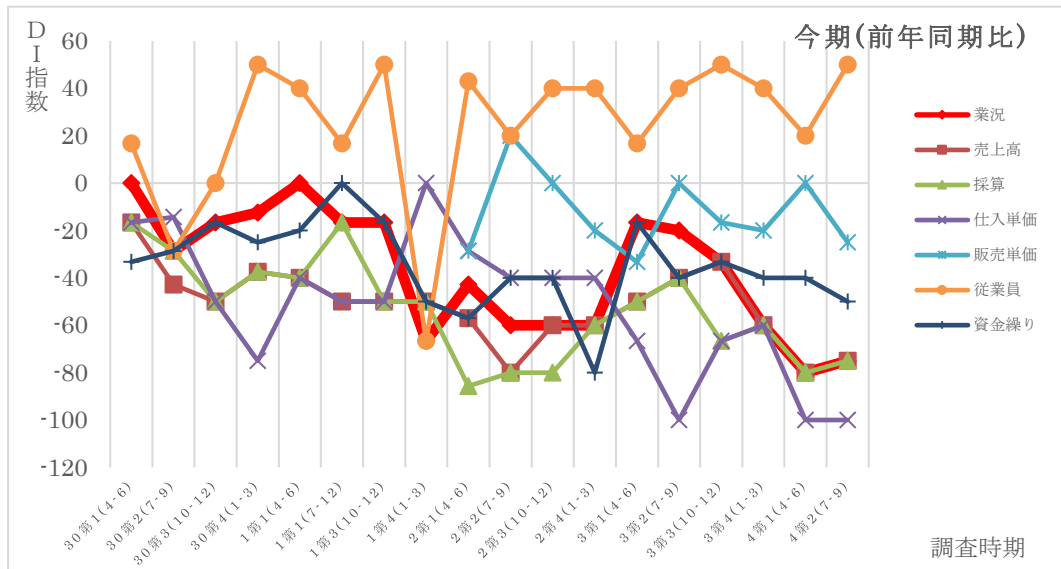
先行き(来期)見通し、業況DI▲20.0(今期比+10.0ポイント)改善を見込。



**建設業↑ 業況DI▲75.0(前期比+5.0ポイント)。**

売上高DI▲75.0(前期比+5.0ポイント)、採算DI▲75.0(前期比+5.0ポイント)、仕入単価DI▲100(前期比+0ポイント)、販売単価DI▲25.0(前期比-25.0ポイント)、従業員DI50.0(前期比+30.0ポイント)、資金繰りDI▲50.0(前期比-10.0ポイント)。

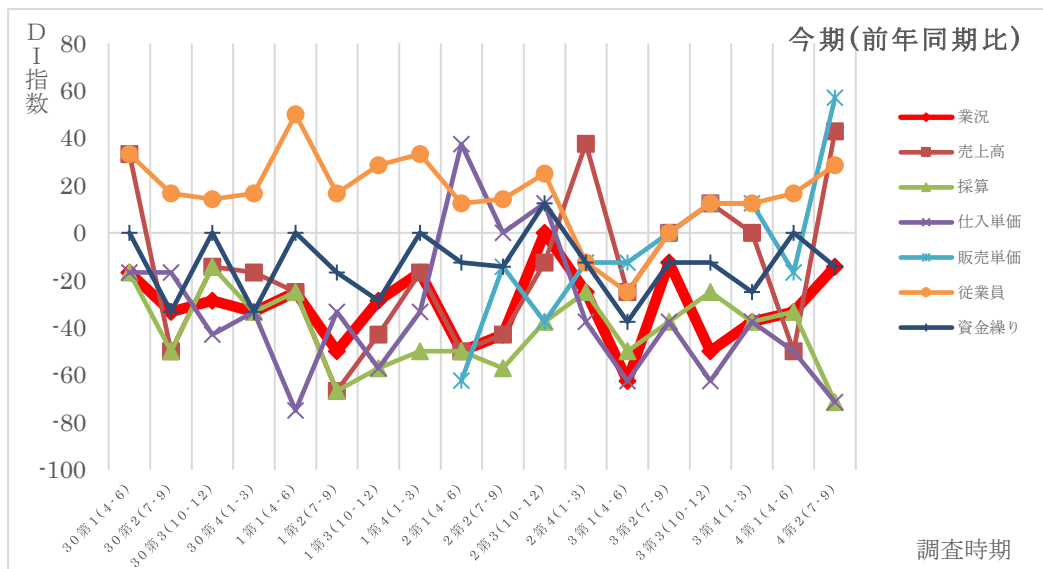
先行き(来期)見通し、業況はDI▲50.0(今期比+25.0ポイント)改善を見込。



**卸・小売業↑ 業況DI▲14.3(前期比+19.0ポイント)。**

売上高DI42.9(前期比+92.9ポイント)、採算DI▲71.4(前期比-38.1ポイント)、仕入単価DI▲71.4(前期比-21.4ポイント)、販売単価DI57.1(前期比+73.8ポイント)、従業員DI28.6(前期比+11.9ポイント)、資金繰りDI▲14.3(前期比-14.3ポイント)。

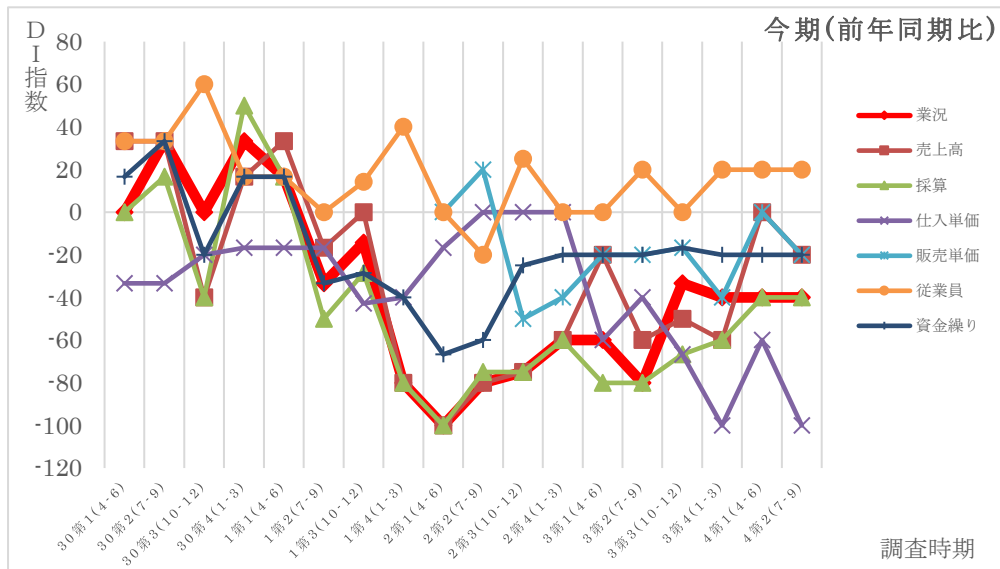
先行き(来期)見通し、業況DI▲28.6(今期比-14.3ポイント)と改善を見込。



**サービス業→ 業況DI▲40.0(前期比+0ポイント)。**

売上高DI▲20.0(前期比-20.0ポイント)、採算DI▲40.0(前期比+0ポイント)、仕入単価DI▲100(前期比-40.0ポイント)、販売単価DI▲20.0(前期比-20.0ポイント)、従業員DI20.0(前期比+0ポイント)、資金繰りDI▲20.0(前期比+0ポイント)。

先行き(来期)見通し、業況DI0(今期比+40.0ポイント)改善を見込。



**【業況感等コメント】**

- 収束の見えないウクライナ危機とコロナウイルスによって経済活力が疲弊しており、先行きの光明が見出せない状況の中、急速な物価上昇が企業採算を圧迫しはじめている。 (製造業)
- ウッドショック、円安などにより原価の大幅なアップとなり価格の値上げが追い付かない状況 (製造業)